

# 日本金融機関証券 ファンド2013-12

〈愛称〉 J-ブリッド2013-12

最終期（償還日 2017年2月10日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2013年12月27日から2017年2月10日まで
運用方針	<p>①主に日本の金融機関グループが発行した外貨建てのハイブリッド証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。</p> <p>②外貨建て資産については、原則として日本円へ為替のフルヘッジを行い、為替変動リスクを低減する運用を行います。</p> <p>③年2回決算を行い、利子・配当等収益を中心に分配を行います。</p>
主要投資対象	日本の金融機関グループ（銀行本体およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は元本超過額、または経費控除後の配当等収益のいずれが多い額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「日本金融機関証券ファンド2013-12」は、2017年2月10日をもちまして満期償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受 益 回 り	債 券 組 入 率	元 残 存 本 率
	(分配落)	税 分 配 金	込 金 騰 落	期 騰 落 中 額			
(設定日) 2013年12月27日	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1期 (2014年6月16日)	9,989	0	△ 11	△0.1	△0.2	89.8	100.0
2期 (2014年12月15日)	10,047	50	108	1.1	1.0	95.6	97.6
3期 (2015年6月15日)	10,107	50	110	1.1	1.4	93.9	94.5
4期 (2015年12月14日)	10,091	50	34	0.3	1.2	94.5	89.4
5期 (2016年6月14日)	10,072	50	31	0.3	1.1	91.4	86.3
6期 (2016年12月14日)	10,060	30	18	0.2	1.0	97.4	82.9
(償還日) 2017年2月10日	(償還価額) 10,075.48		15	0.2	1.0	—	81.5

(注1) 基準価額の騰落額及び騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 受益者利回りは、基準価額（分配金込み）の当初元本（10,000円）に対する騰落率を年率換算したものです。

(注4) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■最終期の基準価額と市況等の推移

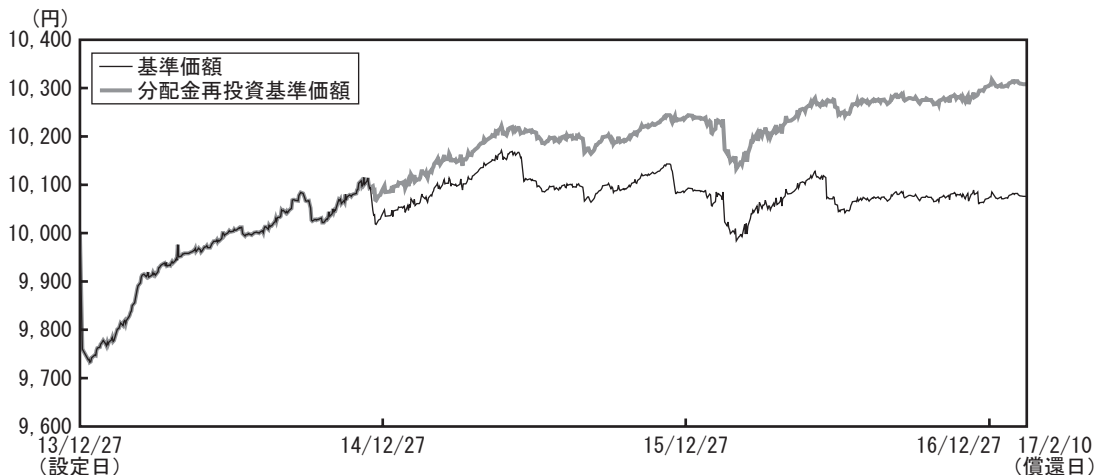
年 月 日	基準価額		債 券 組 入 比 率
	騰 落	率	
(期 首) 2016年12月14日	円 10,060	% —	% 97.4
12月末	10,085	0.2	92.2
2017年1月末	10,079	0.2	—
(償 還 日) 2017年2月10日	(償還価額) 10,075.48	0.2	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## 設定以来の運用経過（2013年12月27日（設定日）～2017年2月10日（償還日））

### ■基準価額の推移



設定日：10,000円

償還日：10,075円48銭（期中分配金合計230円）

騰落率：3.1%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- ・当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

### ■基準価額の主な変動要因

期を通じて、高いクーポン収入を背景に、基準価額は上昇基調で推移しました。

期中後半、基準価額の上昇ペースが鈍化しましたが、これは主に組み入れているハイブリッド証券の残存期間が償還に近づき短くなったこと、また為替ヘッジコストが上昇したことによります。

## ■投資環境

### ○米国債券市場

米国債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

ファンド設定以降、世界的な景気減速懸念や日欧の金融緩和強化の影響から、利回りは低下基調となりました。その後、2015年は、利上げ観測が台頭し、利上げが実施された12月にかけて利回りが上昇しました。2016年は、再び世界の景気減速懸念から利回りは低下して始まったものの、11月に米国大統領選でトランプ氏が勝利し景気拡大や物価上昇観測が高まり、その後利回りは大幅に上昇しました。

### ○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

ファンド設定以降、ユーロ圏景気の低迷やインフレ率の低下を受け、2014年6月にはマイナス金利も導入されるなど金融緩和が強まり、利回りは大幅に低下しました。2015年は、これまでの金利低下の反動から4月から5月にかけて利回りは上昇したものの、その後は再び低下し、2016年央まで低下基調が続きました。その後は、景気回復や米国債券の利回り上昇を受けて、利回りは上昇しました。

### ○英国債券市場

英国債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

ファンド設定以降、英国景気の低迷やインフレ率の低下を受け、利回りは大幅に低下しました。2015年は、これまでの金利低下の反動から4月から5月にかけて利回りは上昇したものの、その後は再び低下し、2016年央まで低下基調が続きました。その後は、米国債券の利回り上昇を受けて、利回りは上昇しました。

### ○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券市場は、投資家の強い需要等に支えられ、2016年半ばまで利回りは低下（価格は上昇）基調で推移しました。2016年半ば以降は、世界の国債利回りは上昇傾向となりましたが、保有するハイブリッド証券の残存期間が償還に近づき短くなったことから、価格への影響は限られました。

### ■当該投資信託のポートフォリオ

主に日本の金融機関グループが発行した外貨建てのハイブリッド証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行ってきました。日本の金融機関グループが発行した外貨建てのハイブリッド証券を中心に運用を行い、全て2017年1月に償還されました。投資している証券はすべて外貨建てであり、為替変動リスクを回避する目的から、為替のフルヘッジを行いました。

### ■当該投資信託のベンチマークとの差異

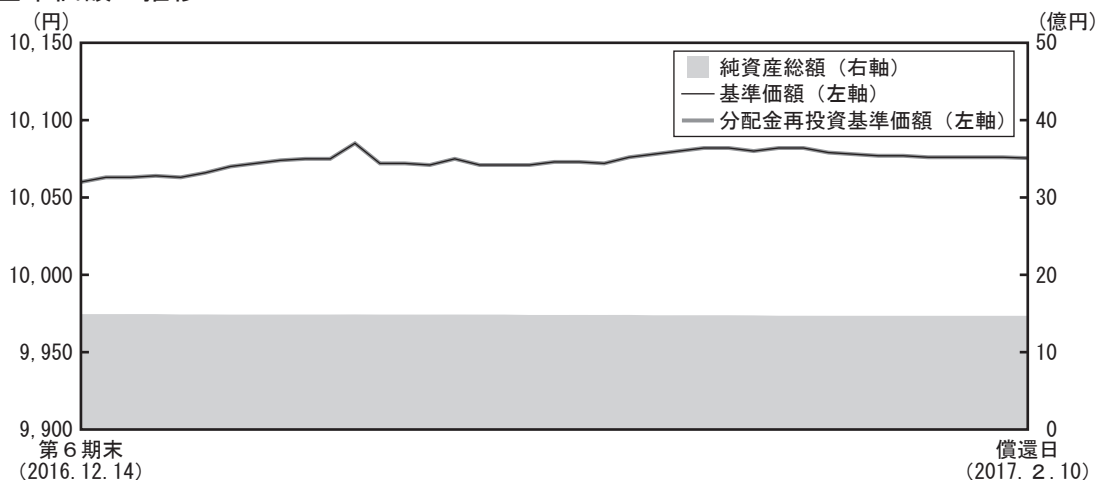
当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

### ■分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、第1期は0円（1万口当たり、以下同じ。）、第2期～第5期は各50円、第6期は30円、合計230円の分配を行いました。

## 最終期の運用経過（2016年12月15日～2017年2月10日（償還日））

## ■ 基準価額の推移



期首：10,060円

償還時：10,075円48銭（期中分配金合計一円）

騰落率：0.2%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年12月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- ・当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

当該ファンドで保有する邦銀ハイブリッド証券は、期中に償還をむかえました。所有期間利回りは小幅にプラスとなり、基準価額も小幅にプラスとなりました。

## ■投資環境

### ○米国債券市場

米国債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

12月下旬から1年半ばにかけては、トランプ氏当選後の大幅上昇の反動から、利回りは低下しました。また、1月中旬にイエレンFRB（米連邦準備理事会）議長が「緩やかな利上げは理にかなう」とタカ派的な姿勢を示したことや、12月の消費者物価指数が順調な伸びとなったことから、利上げ観測が高まり、利回りは小幅に上昇しました。

### ○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

12月中旬から月末にかけては、ドラギECB（欧州中央銀行）総裁が金融緩和姿勢は続けるとの考えを示したことや、利回りが低下しました。1月においては、3日発表の12月の消費者物価指数が市場予想を上回る結果となったことや、景況感の改善や期待インフレの上昇から、利回りは上昇しました。2月に入ると、トランプ政権の政策に対する不安感の広がりから、利回りは低下しました。

### ○英国債券市場

英国債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

12月下旬においては、ドイツや米国の債券利回りが低下するなか、英国の債券利回りもつられて低下しました。1月においては、ドイツ債券同様、景況感の改善や物価上昇観測を背景に、上昇基調で推移しました。2月に入ると、ドイツ債券と同様、トランプ政権の政策に対する不安感の広がりから、利回りは低下しました。

### ○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券市場は、対国債スプレッドは概ね横ばいとなり、基準となる国債金利が低下したことにより、利回りは低下（価格は上昇）しました。

尚、当該ファンドで保有する邦銀ハイブリッド証券は、残存期間が短く期中には償還をむかえたため、市場環境の影響をほとんど受けず、所有期間利回りは小幅にプラスとなりました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

期初のポートフォリオは4銘柄で構成されていましたが、全て1月に償還されました。投資している証券は外貨建てであり、為替変動リスクを回避する目的から、為替のフルヘッジを行いました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■分配金

該当事項はありません。

## <償還を迎えて>

当ファンドは、2017年2月10日をもちまして信託期間を終了し、満期償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	最終期		項目の概要
	(2016年12月15日～2017年2月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	7円	0.072%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,074円です。
(投信会社)	(7)	(0.065)	ファンドの運用の対価
(受託会社)	(1)	(0.007)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.005	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.004)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	8	0.077	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■売買及び取引の状況

### ○公社債

(2016年12月15日から2017年2月10日まで)

			買 付 額	売 付 額
外	ア メ リ カ	国 債 証 券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 210 (1,190)
		社 債 券	—	500 (5,000)
	イ ギ リ ス	社 債 券	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド — (2,400)
	ユ ー ロ		千ユーロ	千ユーロ
国	そ の 他	社 債 券	—	— (2,500)
	ユ ー ロ 通 貨 計	社 債 券	—	— (2,500)

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### ○公社債

(2016年12月15日から2017年2月10日まで)

最		終		期	
買	付	金	額	売	付
銘	柄	金	額	銘	柄
—	—	千円	—	SMFG PREFERRED 6.078% 2017/01/25	58,338
				US TREASURY N/B 0.75% 2017/01/15	24,466

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 邦貨換算金額は月中の取引を各月末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■利害関係人との取引状況 (2016年12月15日から2017年2月10日まで)

当ファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

## ■組入資産の明細

最終期末(2017年2月10日現在)における当該事項はございません。

## ■投資信託財産の構成

(2017年2月10日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,471,127	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,471,127	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ■資産、負債、元本および償還価額の状況

(2017年2月10日現在)

項 目	償 還 時
a 資産	1,471,127,943円
コール・ローン等	1,471,127,943
b 負債	1,072,037
未払信託報酬	1,059,782
未払利息	11,847
その他未払費用	408
c 純資産総額(a - b)	1,470,055,906
元本	1,459,043,342
償還差損益金	11,012,564
d 受益権総口数	1,459,043,342口
1万口当たり償還価額(c / d)	10,075円48銭

(注1) 2013年12月27日設定、設定当初元本額1,790,020,000円、  
 当期首元本額1,483,033,342円、元本残存率(期末元本額  
 の設定当初元本額に対する割合)81.5%

(注2) 償還時における1口当たりの純資産総額 1.007548円

## ■損益の状況

(2016年12月15日から2017年2月10日まで)

項 目	最 終 期
a 配当等収益	8,451,694円
受取利息	8,251,402
その他収益金	251,544
支払利息	△ 51,252
b 有価証券売買損益	△ 93,032,472
売買益	199,954,745
売買損	△292,987,217
c 有価証券評価差損益	87,792,500
d 信託報酬等	△ 1,127,064
e 当期損益金(a + b + c + d)	2,084,658
f 前期繰越損益金	8,933,045
g 解約差損益金	△ 5,139
h 合計(e + f + g)	11,012,564
償還差損益金(h)	11,012,564

(注1) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年12月27日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年2月10日			資産総額	1,471,127,943円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,072,037円	
受益権口数	1,790,020,000口	1,459,043,342口	△330,976,658口	純資産総額	1,470,055,906円	
				受益権口数	1,459,043,342口	
元本額	1,790,020,000円	1,459,043,342円	△330,976,658円	1万口当たり償還金	10,075円48銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たりの分配金		
				金額	分配率	
	円	円	円	円	%	
第1期	1,790,020,000	1,788,085,209	9,989	0	—	
第2期	1,746,420,000	1,754,712,642	10,047	50	0.50	
第3期	1,692,426,884	1,710,495,762	10,107	50	0.50	
第4期	1,599,933,342	1,614,516,865	10,091	50	0.50	
第5期	1,544,133,342	1,555,314,849	10,072	50	0.50	
第6期	1,483,033,342	1,491,966,387	10,060	30	0.30	
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				総収益金	収益率	
				305円48銭	1.0%	

## ■償還金のお知らせ

1万口当たりの償還金（税引前）	10,075円48銭
-----------------	------------